

Rboard for **Keitai**
アールボード

au 携帯電話 専用
Model **RBK-110C II**

ユーザーズマニュアル

(第1版)

リュウド株式会社
REUDO[®]

ご確認事項

本製品をお使いになる前に、必ずこの「ユーザーズマニュアル」をよくお読み下さい。

リュウド株式会社は、本製品に記載された他社製品に関し、表示されている、いないに関わらず、それらの性能、品質、機能、商品価値、使用方法について一切の保証を行いません。また、それらの製品を使用したことによって使用された方が被るあらゆる損害について、その責を負うものではありません。

目 次

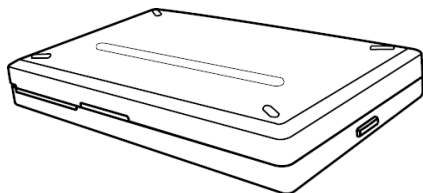
1 . ご使用になるための準備	6
1 . 梱包内容の確認	6
2 . 製品の特徴	7
3 . 主な仕様	7
4 . キーボードを開く	8
5 . 電池を入れる	9
6 . 携帯接続コネクタの向きを反転させる	10
7 . 携帯電話をキーボードに接続する	11
8 . 電源の ON/OFF とスリープ・モード	13
2 . キー操作の説明	15
1 . ホットキー（黄色の丸ボタン）	15
2 . 「メニュー」と「決定」	16
3 . 各キーの機能	17
4 . ファンクション（Fn）キーとの組合せ	18
5 . 通常モード / 高速モードの切換	19
3 . 文字入力の方法	21
1 . 文字入力モードの切替え方法	21
2 . 文字入力モード切替時の動作について（ダミー文字送信）	23
3 . 入力モードを切り替えると前の画面に戻ってしまう？	23
4 . 入力モード切替時に入力されていた文字が 1 文字消える？	24
5 . 全角ひらがな入力での「変換」と「確定」	24
6 . 「スペース」と「改行」	25
7 . WIN 機種でのメール送信操作に関する制限	25
4 . 製品保証とユーザーサポート	26
1 . 製品保証期間	26
2 . ユーザーサポート	26

1. ご使用になるための準備

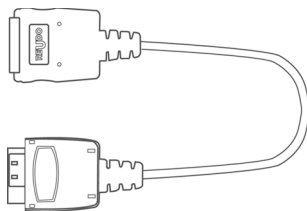
1. 梱包内容の確認

本製品パッケージには、次のものが入っています。

Rboard for keitai RBK-110CII 1台



CDMA 延長ケーブル 1本



ユーザーズマニュアル 1冊

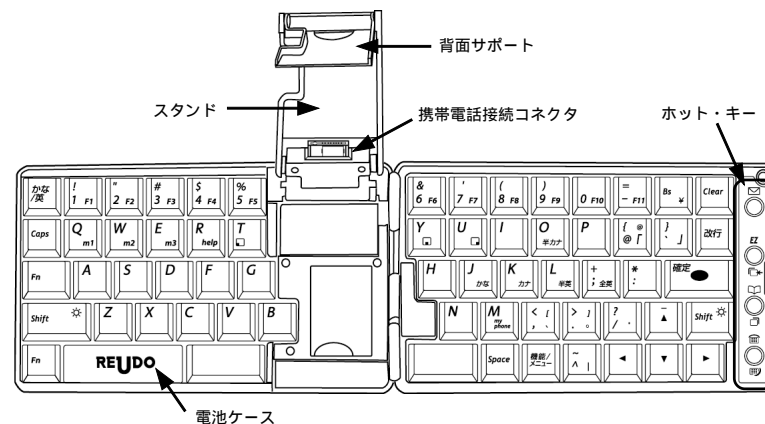


保証書はユーザーズマニュアルの最終ページにあります。

万一、不足等がございましたら、恐れ入りますが弊社もしくはお買い上げの販売店へご連絡下さい。

2. 製品の特徴

- ・auのCDMA方式携帯電話機の操作や文字入力ができます。
- ・ローマ字入力による「かな漢字変換」ができます。(かな入力はできません)
- ・パソコンのキーボード配列や操作に極めて近い設計になっていますので、パソコンに慣れた方なら簡単に使いこなせます。
- ・キーピッチは16mmありますので両手のブラインドタッチもラクラクできます。
- ・ホット・キーのワンタッチで使用頻度の高いメニューへジャンプできます。
- ・携帯電話機を立て掛けるスタンドが付いていますので、入力時に液晶画面が見やすい位置に固定されます。
- ・使わない時は折りたたんでポケットやバックに収納できます。



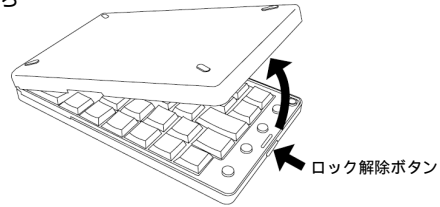
3. 主な仕様

- | | |
|------------|--|
| 1. 外形寸法 | 使用時: 300 x 90 x 10mm (スタンド部除く)
収納時: 150 x 90 x 20mm |
| 2. 重量 | 約 180g (電池含む) |
| 3. キーピッチ | 16mm (タテ、ヨコ) |
| 4. キーストローク | 2.2mm |
| 5. 使用電池 | LR-44 ボタン電池 3個 (SR-44 ^{*1} も使用可能) |

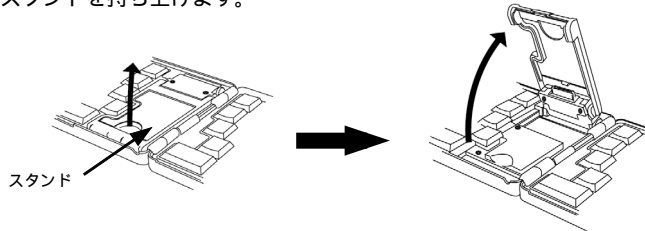
*1. SR-44タイプはLR-44よりも高容量ですので電池寿命が長くなります。

4. キーボードを開く

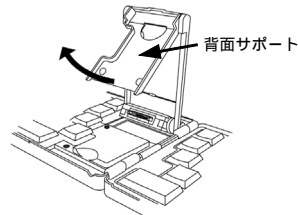
1. ロック解除ボタンを押しながら本体を開きます。



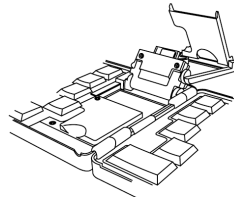
2. スタンドを持ち上げます。



3. 背面サポートを開きます。

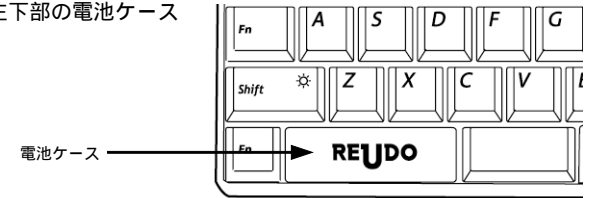


4. スタンドを完全に開きます。

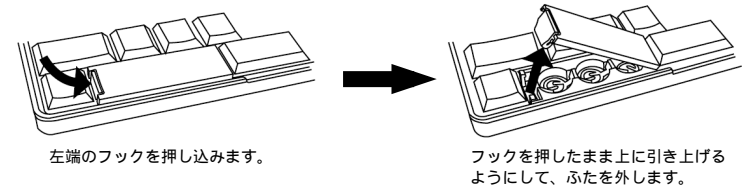


5. 電池を入れる

電池はキーボード左下部の電池ケースにセットします。

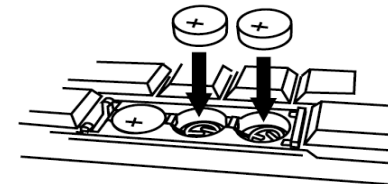


1. 電池ケースのふたを外します。



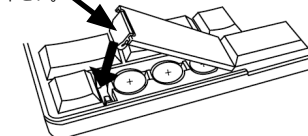
無理に外しますと、ふたの爪を破損する恐れがあります。

2. LR-44 ボタン電池を3個、すべて(+)が上になるように電池ケースへ入れます。



3. 電池ケースのふたを元通りに閉めます。

フックを押し込みながら閉じて下さい。



6. 携帯接続コネクタの向きを反転させる

携帯電話機によって外部接続端子(コネクタ)の向きが異なります。キーボードと携帯電話機のコネクタの向きが一致しないと接続することができませんので、携帯電話機のコネクタの向きをご確認の上、一致しない場合は下記の手順でキーボードの携帯接続コネクタを反転させて下さい。

丸端子が左側



本製品は工場出荷時に、こちらの向きに合わせてあります。

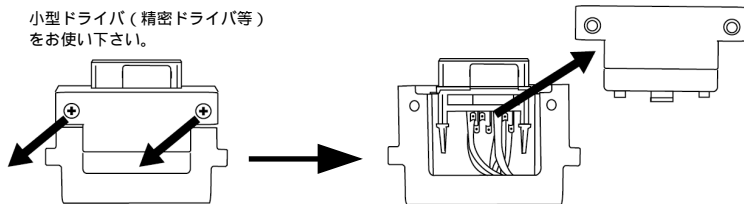
丸端子が右側



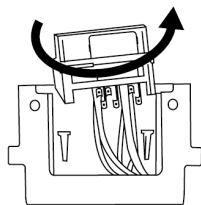
外部接続端子が側面にある機種などで、CDMA 延長ケーブルをお使いになる場合は、コネクタを反転させる必要はありません。

1. コネクタカバーの固定ネジ2個をはずし、コネクタカバーをはずします。

小型ドライバ(精密ドライバ等)をお使い下さい。



2. コネクタを反転させます。



3. コネクタカバーを元通りに戻し、固定ネジを締め直します。

7. 携帯電話をキーボードに接続する

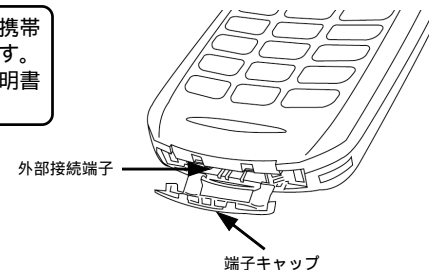


注意

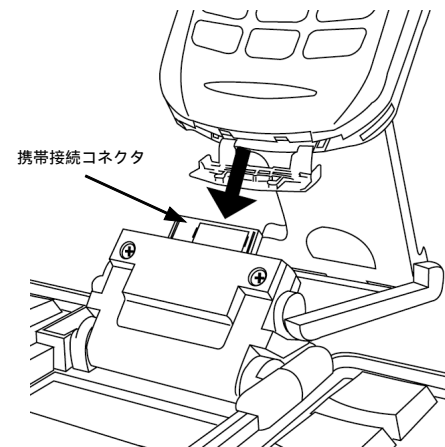
携帯電話機がうまく差し込めない場合は、電話機のコネクタの向きとキーボードのコネクタの向きが一致しているか確認して下さい。一致していない場合はキーボードの携帯電話接続コネクタを裏返しに取付直して下さい。(8ページ参照)

1. 携帯電話下部の端子キャップをはずして外部接続端子を露出させます。

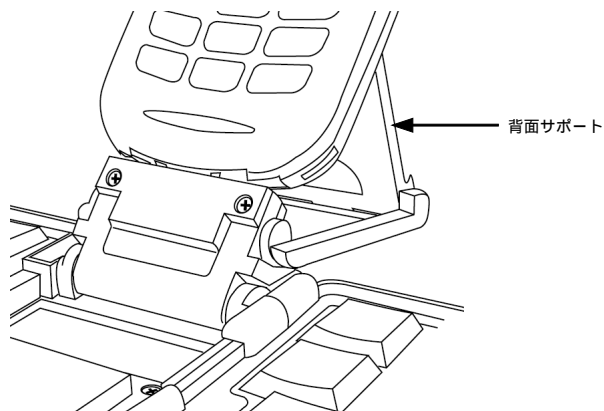
端子キャップのはずし方は携帯電話機種によって異なります。お使いの携帯電話の取扱説明書をご参照下さい。



2. 携帯電話の外部接続端子をキーボードの携帯接続コネクタに差し込みます。



3. しっかりと奥まで差し込みましたら、携帯電話を背面サポートにもたれさせるようにします。



4. CDMA延長ケーブルを利用する場合は、延長ケーブルのメス側コネクタをキーボードへ、オス側コネクタを携帯電話へ接続します。



8. 電源のON/OFFとスリープ・モード

1. キーボードの電源と携帯電話の電源

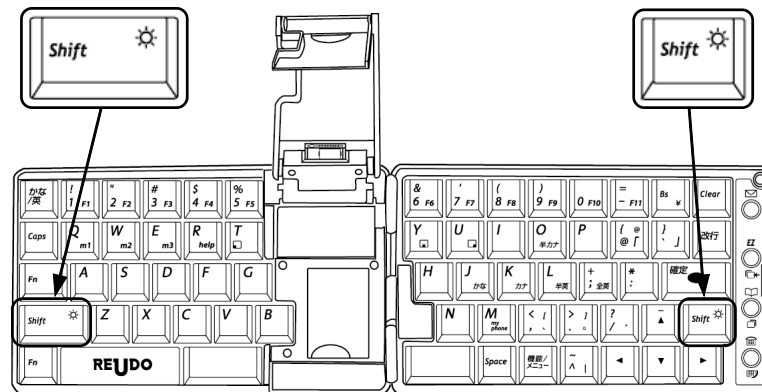
本機には電源ON/OFFスイッチがありません。携帯電話を接続すれば、約3秒で自動的にキーボードの電源がONになります。

2. 省電力機能（スリープ・モード）について

本機には、電池の消耗を抑えるための省電力機能が組み込まれています。携帯電話を接続した状態で3分間キー入力を行わないと、本機はスリープ・モードに入ります。スリープ・モードを解除するには、☀印の付いた「スリープ解除キー」を押して下さい。約3秒後にスリープ・モードから復帰してキー入力が可能になります。

スリープ解除キー（☀マーク）

左右の「Shift」キーがスリープ解除キーです。

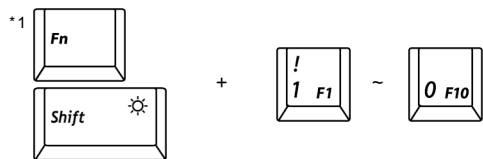


注意

スリープモードでも電池は消耗します

スリープモードでもわずかな電流が流れますので、長時間キーボードに携帯電話を接続したままにしますと、電池の消耗が早くなります。

また、スリープ・モードへ入るまでの未使用時間は、以下の方法で変更できます。



- Fn + Shift + 1 -> 1分後にスリープ
- Fn + Shift + 2 -> 2分後にスリープ
- ⋮
- Fn + Shift + 9 -> 9分後にスリープ
- Fn + Shift + 0 -> スリープしません。^{*2}

*1. この機能に限りキーボード中段左端にある「Fn」キー（「A」の左隣）をお使い下さい。最下段電池ボックス左隣の「Fn」キーでは機能しません。

*2. この状態では電池の消耗が極端に激しくなりますので、ご注意下さい。



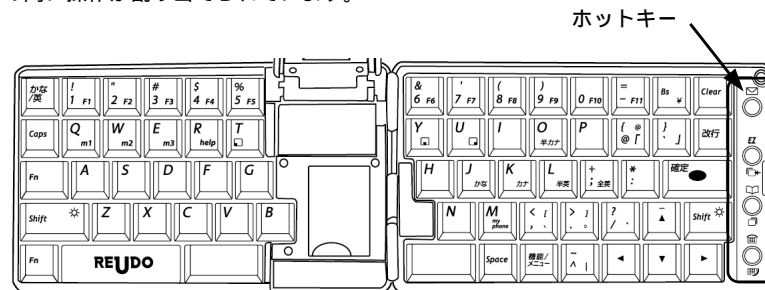
注意

この設定変更情報は携帯電話をキーボードから取り外してキーボードの電源がOFFになると保持されずに消えてしまいます。次回起動時には標準の3分に戻りますので毎回ご使用時に設定を行って下さい。

2. キー操作の説明

1. ホットキー（黄色の丸ボタン）

キーボード右側にある4個の黄色い丸ボタンは「ホットキー」と呼ばれ、使用頻度の高い操作が割り当てられています。



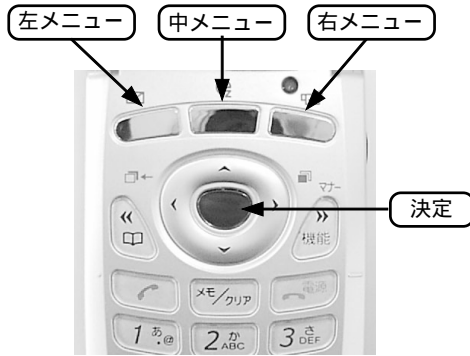
ホットキーの各ボタンに割り当てられている操作は以下の通りです。

ホットキー	操作 ^{*1}	機能	携帯ボタン
	単独	Eメールメニュー	
	単独	EZメニュー	
	Fn +	着信履歴	
	単独	アドレス帳	
	Fn +	発信履歴	
	単独	終了	
	Fn +	開始	

*1. 単独：ボタンを単独で押す Fn + : Fn キーと同時に押す

2. 「メニュー」と「決定」

携帯電話の「左中右メニュー」および「決定」ボタンに該当する操作をキーボードで行うことができます。



各ボタンに対応するキーボード操作は以下の通りです。

左メニュー	中メニュー	右メニュー
Fn + T	Fn + Y	Fn + U
決定		
確定		

「中メニュー」ボタンが存在せず、「決定」ボタンで「中メニュー」操作を兼用している機種も多くあります。そのような機種では、「中メニュー」「決定」のどちらのキーでも同じ動作になります。

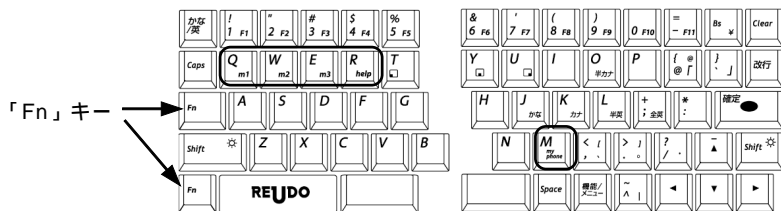
3. 各キーの機能

文字入力以外の各キーの機能は下記の通りです。

キー	名称	機能
かな/英	かな / 英数切替 (戻る)	文字入力中に入力モードの「全角ひらがな」と「半角英数」を交互に切り替えます。その他の画面では1つ前の画面に戻ります。
Caps	キャピタルレター	英字入力を「大文字」に固定します。PCのキーボードでは「Caps Lock」に該当します。
Fn	ファンクション	ファンクション対応キーと同時に押すことで様々な操作を行えます。
Shift	シフト	シフト対応キーと同時に押すと、キートップ上部の文字が入力されます。
Bs	バックスペース (戻る)	文字入力中はカーソル前の文字を消去します。長押しすると全文消去します。(携帯電話機種によっては長押し不可) その他の画面では1つ前の画面に戻ります。
Clear	クリア (戻る)	文字入力中はカーソル位置の文字を消去します。長押しすると全文消去します。その他の画面では1つ前の画面に戻ります。
改行	改行	改行してカーソルが次の行へ移動します。
確定	確定	文字入力やメニュー選択を決定します。
Space	スペース	1文字分の空白が入ります。
機能/メニュー	機能 / メニュー	メインメニューまたはM機能を呼び出します。
▲ ▼ ◀ ▶	移動	カーソル、メニュー選択で矢印方向へ移動します。

4. ファンクション (Fn) キーとの組合せ

ファンクションに対応しているキーには黄色い印字があり、「Fn」キーと同時に押すと黄色い印字の入力や操作が有効になります。「Fn」キーは2つありますが、どちらか1つを押して下さい。どちらを押しても結果は同じです。



キー	名称	機能
Q _{m1}	メール 1	半角で " @docomo.ne.jp " と入力されます。
W _{m2}	メール 2	半角で " @ezweb.ne.jp " と入力されます。
E _{m3}	メール 3	半角で " @softbank.ne.jp " と入力されます。
R _{help}	ヘルプ	半角で "www.reudo.co.jp/c/ " と入力されます。これは弊社 WEB サイトの本製品に関する携帯電話向けページの URL です。
M _{my phone}	マイフォン	お使いの携帯電話機の電話番号が入力されます。メール等に電話番号を書き込む時に便利です。

上記はすべて、文字入力可能な画面でのみ有効です。

F1 ~ F11 について

F1 ~ F11 は、au 電話機の共通仕様で定められたコマンドを送るように設定されていますが、各コマンドにどのような操作を割り当てるかは携帯電話機によって異なります。弊社で確認した限りでは機種によって一部対応している場合がありますが、説明は省略させていただきます。





5. 通常モード / 高速モードの切換

本機にはキーボードから携帯電話機へのデータ送信速度を切り換える機能が搭載されています。高速モードでは通常モードに比べ 64 倍速くデータを送りますので、キー入力に対する携帯電話側の反応が格段に向上します。

通常モード	600bps	bps = Bit Per Second
高速モード	38,400bps	

1. 通常モードと高速モードの切換方法

携帯電話をキーボードに接続した時は常に「通常モード」となりますが、接続後はいつでも「高速モード」に切り換えることができますし、「通常モード」に戻すこともできます。

高速モードへ切換	 + 
通常モードへ切換	 + 

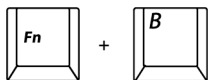


携帯電話の機種によって高速モードに対応しない場合があります。高速モードで問題がある場合は通常モードでご使用下さい。

高速モードご利用時の注意点

1. 高速モードに切り換えた際は、携帯電話機側の切換が完了するまで 5 ~ 10 秒間ほどキー入力ができません。
2. SONY 製携帯電話は高速モードでは数字および #、* が正しく入力できません。
3. 高速モードの設定は、携帯電話をキーボードから取り外すと保存されません。再接続時は通常モードになりますので、接続する度に設定を行って下さい。

2. 入力速度モードを表示

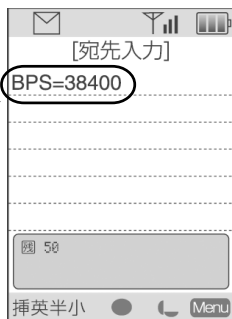


を押すと携帯電話の画面

で現在のモードを確認することができます。

BPS=600 : 通常モード
BPS=38400 : 高速モード

携帯電話機がメール作成画面など文字入力できる状態になっていないと表示されませんので、速度の確認は文字入力できる画面で行って下さい。



3. 文字入力の方法

1. 文字入力モードの切替え方法



重要

本機の日本語入力モードは「ローマ字入力」専用です。いわゆるパソコンの「かな入力」とおなじ入力方法はできません。

1. 「Fn」キーとのコンビネーションによる切替


携帯電話機の文字入力には「全角ひらがな(漢字変換)」、「全角カタカナ」、「半角カタカナ」、「半角英数」、「全角英数」の5つのモードがあります。本機では「Fn」キーの利用でこれらのモードを任意に切り替えることができます。

入力モード	キー操作
全角ひらがな(漢字)	+
全角カタカナ	+
半角カタカナ ^{*1}	+
半角英数	+
全角英数	+

^{*1}: 半角カタカナの入力ができるのは、アドレス帳のよみがな、メモ帳などに限られています。

2. 「かな/英」キーによる切替

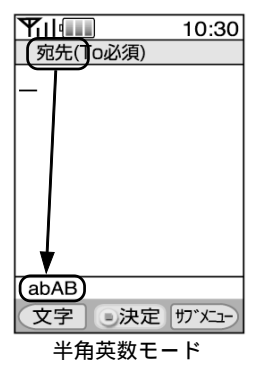
パソコンと同様に、キーボード左上の キーを押すと「全角ひらがな」と「半角英数」が交互に切り替わります。




3. 電話機側で強制的に文字入力モードを切り替える場合の対処  注意

新規メール作成時などでは、携帯電話機自身が強制的に入力モードを切り替えてしまいます。

- ・「宛先」入力画面 -> 半角英数
- ・「題名」・「本文」入力画面 -> 全角ひらがな

例えば、メールの「宛先」画面に入りますと携帯電話機は自動的に「半角英数」モードに切り替わり、半角英数以外の入力を受け付けなくなります。この切替は電話機自身が行うものでキーボードからの指示による切替ではありませんので、キーボードのモードは切り替わっていません。このような場合、キーボードも「半角英数」モードになっていれば問題ありませんが、他モードになっていますと宛先入力できません。



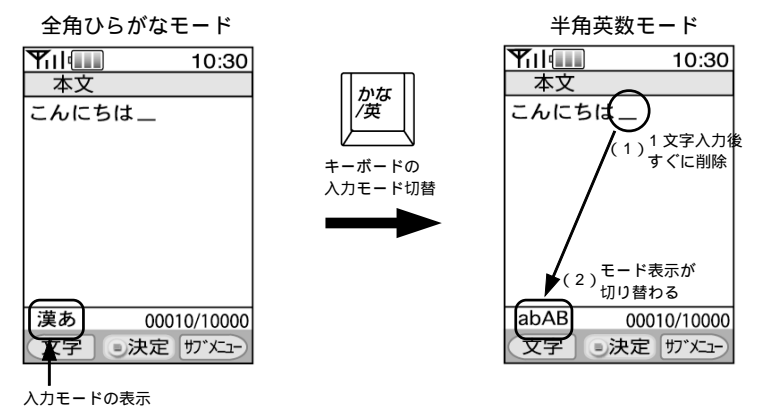
宛先入力できない場合は  または  +  を押して、キーボードを「半角英数」モードに切り替えて下さい。

また宛先入力後、「題名」や「本文」画面に入りますと携帯電話機は自動的に「全角ひらがな」モードに切り替わりますが、キーボードは「半角英数」モードのままですので、そのまま入力しますと「半角英数」になります。

かな漢字入力するには  または  +  を押して下さい。

2. 文字入力モード切替時の動作について (ダミー文字送信)

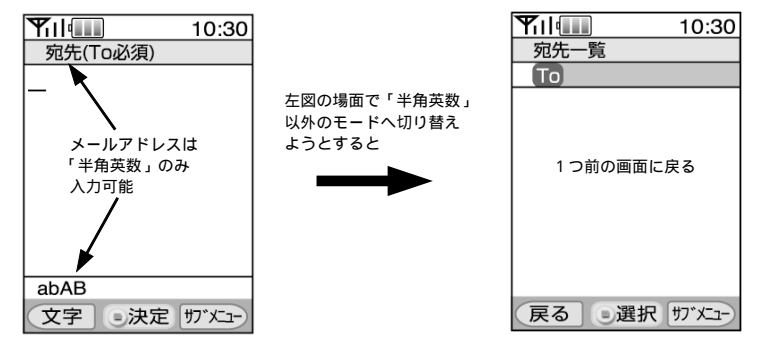
キーボードで入力モードを切り替える度に、携帯電話の入力画面で何か1文字入力され、すぐに削除される動作を行います。これはキーボード側の入力モードを変更しても、何か1文字入力しないと携帯画面上の入力モード表示が変わらないので、表示を切り替えるためにキーボードのプログラムが「1文字入力 削除」という操作を自動実行するため、異常な動作ではありません。



3. 入力モードを切り替えると前の画面に戻ってしまう？

以下のケースでは入力モードを切り替えると、1つ前の画面に戻ってしまいます。

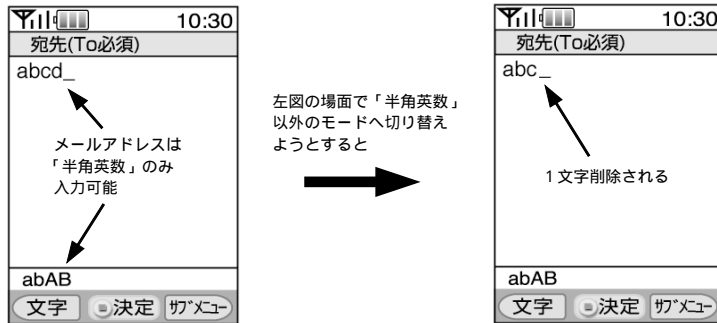
1. メニュー選択画面などの文字入力できない画面で切り替えようとした時
2. 文字入力できる画面で何も文字が入力されていない時に、非対応モードへ切り替えようとした時



4. 入力モード切替時に入力されていた文字が1文字消える？


以下のケースでは入力モードを切り替えると、すでに入力されていた文字が1文字削除されます。

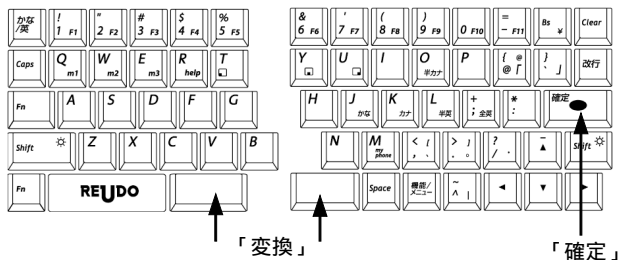
1. 文字入力できる画面で、すでに文字が入力されている時に、非対応モードへ切り替えた時



5. 全角ひらがな入力での「変換」と「確定」

漢字を交えた日本語の入力は、以下の手順で行います。

1. 「全角かな」モードでひらがなを入力し「変換」キーを押しますと、カタカナや漢字に変換できます。
2. 「変換」または「」キーを繰り返し押し、希望する漢字に変換します。
3. 「確定」キーを押して決定します。



6. 「スペース」と「改行」

1. スペース（空白）

文章の途中にスペースを入れる場合は、「space」キーを押します。

全角ひらがな入力では「確定」後に入力できます。

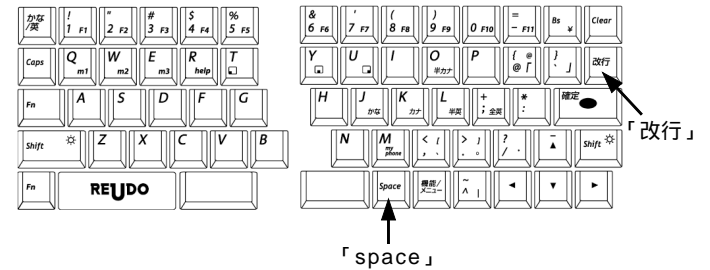
「カナ」「半カナ」「半英」「全英」モードの時は「変換」キーでもスペースが入ります。

2. 改行

文章の途中で改行する場合は、「改行」キーを押します。

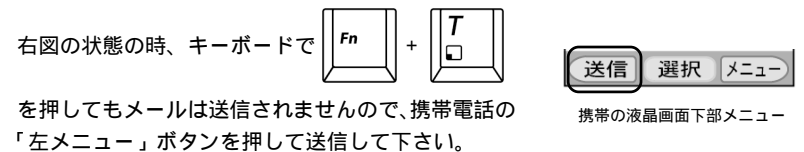
全角ひらがな入力では「確定」後に入力できます。

（「確定」キーでは改行されません）



7. WIN 機種でのメール送信操作に関する制限

CDMA 1x WIN（主に Wxx で始まる機種）は、電話機側に機能制限があり、キーボードからの「メール送信」操作を受け付けません。メール作成や保存など「送信」以外の操作はキーボードからでも問題なく出来ますので、「送信」操作は携帯電話のボタンを押して実行して下さい。



を押してもメールは送信されませんので、携帯電話の「左メニュー」ボタンを押して送信して下さい。

4 . 製品保証とユーザーサポート



製品保証およびユーザーサポートを受ける際には、本マニュアル最終ページの保証書（販売店印を押したもの）もしくはご購入時のレシートが必要ですので大切に保管下さい。

1 . 製品保証期間

本製品の保証期間はご購入日から1年間となります。保証期間内において通常のご使用で発生した故障や不具合等は無償で修理・交換致します。

ただし、電池の消耗や摩耗等による外観上の劣化、お客様の過失による破損等は保証の対象外となります。

2 . ユーザーサポート

本製品ご使用上のトラブルや疑問点等につきまして無償でユーザーサポートを受けられる期間は、ご購入日から1年間に限らせて頂きます。サポート期間を過ぎたお客様からのお問い合わせにはお答え致しかねる場合がございますので、予めご了解下さい。

本製品についてのお問い合わせは、下記までご連絡下さい。

リュウド株式会社

〒942-1527 新潟県十日町市太平187

TEL : (025)595-6764

FAX : (025)595-6761

e-mail : rboardk@reudo.co.jp

ホームページ : <http://www.reudo.co.jp/rboardk/>

<http://www.reudo.co.jp/c/>（携帯電話から）

ホームページでは最新情報やサポート情報を公開しております。

電話受付時間 AM 10:00 - 12:00 および PM 1:00 - 5:00

（祝祭日・弊社休日を除く、月～金曜日）

* FAX、e-mailは24時間受付します。

Rboard for keitai RBK-110CII

ユーザーズマニュアル

第1版

2007年6月1日

*文中の会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

保証書

本書は、本製品について「保証規定」の内容により、保証期間内に故障が発生した場合に無償修理させて頂くことをお約束するものです。保証期間内に故障が発生した場合は、下記の弊社連絡先までお問い合わせ下さい。

商品名

Rboard for Keitai RBK-110CII

保証期間

ご購入日より1年間

ご購入日

年 月 日

販売店

保証を受けるには、ご購入を確認できる販売店印、レシート、シールなどが必要です。

保証規定

1. 本保証書による保証対象は、上記「商品名」欄に記載されている商品のみとさせていただきます。
 2. 保証期間内にユーザーズマニュアルやその他本製品同梱の注意書きに従った適切な使用状態で故障した場合には、無償修理もしくは良品交換させていただきます。
 3. 保証期間内でも、次のような場合は原則として保証対象外とさせていただきます。
 - イ) 誤ったご使用による故障または損傷。
 - ロ) 落下や衝撃による故障または損傷。
 - ハ) 改造、不当な修理またはご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。
 - ニ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災及び異常電圧、指定外の使用電源などによる故障または損傷。
 - ホ) 本保証書のご提示がない場合。
 - ヘ) ご購入販売店印などでご購入日を確認できない場合、または字句を書き換えられた場合。
 - ト) 接続している他の機器、その他外部要因に起因して本製品に故障あるいは損傷を生じた場合。
4. 保証の範囲は、本製品の修理、交換または同等商品との代替交換とさせていただきます。
 5. 本製品の故障により生じた逸失利益やデータ等の損失は保証の対象外とさせていただきます。
 6. 本保証は、本製品の日本国内でのご利用に限り有効です。

REUDO

〒942-1527 新潟県十日町市太平 187
TEL : 025-595-6764 FAX : 025-595-6761

リュウド株式会社 e-mail : rboardk@reudo.co.jp